

JAAS News 第167号をお届けします

一般社団法人シニア社会学会・事務局 2013年6月12日

< もくじ >	
1. 2013年度総会・大会報告	1
2. 研究会からのお知らせ	2

1. 2013年度総会・大会報告

2013年度定時総会・第12回大会は6月1日(土)お茶の水女子大学大教室にて行われました。議場で選任された議長 川村理事・運営委員長、議事録署名人 花崎理事、書記 森理事および顧問税理士 上松氏臨席のもと、すべての総会提出議案が滞りなく承認されました。

総会に引き続き、浪江町の復興支援に精力的に関わっておられ、昨年の大会で基調講演くださった佐藤早大教授のご案内で行われた運営委員有志による「福島原発事故被災地視察」の報告を長田理事がしてくださいました。将来の帰還のためのコミュニティ作りについての話し合いも行われているが一家族の避難先が県を跨っているケースも多々あり纏まらない現状、浪江町に入ると鳴り止まない線量計や民家に棲みついたカラスが飛び立つ映像の紹介など、報道にはない情報提供もありました。シニア社会学会として何ができるか、私たち自身が原発問題などの当事者としてなさなければならないことがあるのではないかと、との問題提起をされて報告を閉じられました。続いて皆川理事からは、中央区に避難しておられる方々への支援の活動報告がなされました。

各研究会の昨年度活動報告の後、昼の休憩を挟んで第12回大会となり、基調講演「循環型生涯学習社会と学びあうコミュニティの創造」が行われました。

(1) 基調講演 「循環型生涯学習社会と学びあうコミュニティの創造」

お茶の水女子大学教育学部教授 三輪建二氏

まず、生涯学習の理念の史的変化に関する説明から講演は開始された。

当初「生涯教育」といわれた「生涯学習」は、ユネスコのポール・ラングランが1965年に初めて提唱し、心理学者波多野完治によって日本に紹介された。1980年代を迎え、概念が「教育」から個人の自己実現といった観点が重視される「学習」へと変化した。

さらに1990年代には、「学校教育」「社会教育」以外のインフォーマルな「生涯学習」といった概念形成がなされたが、自己能力の向上といった目的を逸脱することはなかった。

しかし、21世紀を迎えて「生涯学習」の目標は、「学んだ成果を地域に活かす」ということ、更に「地域再生に生涯教育を活用していく」というように大きく進化してきている。

次に、この新しい動きの背景として、2008年中教審が示した①「個人の要望と社会の要請のバランス」、②「社会全体の教育力」、③「子供の生きる力」の向上を目指す「社会との繋がりの中での学び」と、大震災以降の2013年中教審での①個人の自立に向けた学習、②「絆づくり」「地域づくり」に向けた生涯学習体制づくり、③総合的な地域再生拠点としての公民館への見直し等について詳細な説明があった。

最後に、ご自身が関与されている「江戸川総合人生大学」、お茶の水女子大学での「社会教育主事講習」の内容について、ご説明をいただき、「学びあうコミュニティ」コーディネーターという新概念についての説明もいただいた。(吉竹弘行 記)

(2) パネルディスカッション

テーマ「循環型生涯学習社会をめざして～学びを社会の力に～」

パネリスト： 沖藤典子氏、石井トシ子氏、梅沢カツ子氏、石丸紀子氏、石塚光政氏
駒宮淳子氏、堀池喜一郎氏

コメンテーター： 三輪建二氏、市川恵子氏

コーディネーター： 袖井孝子氏、澤岡詩野氏

◆大会から弾けて生まれた、ちょっとうれしい小さな種の報告

コーディネーターを務めた澤岡さんがパネリストのおひとり、(財)日本宇宙少年団つくばの石塚光政さんから、「宇宙にいったアサガオの種の孫(第三世代)を50粒」をいただきました。袖井会長と相談して“浪江の方に夢やロマンの贈り物”ということで、視察の折にお世話になった「まちづくりNPO新町なみえ」の方にご相談したら、植物育てのプロであるNPOの方に発芽させた上で鉢植えし、11か所ある仮設住宅に配ろうという話に進展しています。

澤岡さんは「シニア社会学会からの被災地浪江復興に向けた一つの支援ということで、咲いた頃に、夕涼みがてらビール持参で、再度、訪問できたら、などとも考えております(笑)」と語っています。



2. 研究会からのお知らせ

(1) 社会保障研究会開催のご案内

◆第69回社会保障研究会開催のお知らせ

- 1) 日時：6月20日(木) 18:00～
- 2) 場所：高齢者生活協同組合会議室(光文社ビル6階)
- 3) 講師：ルース・キャンベル 東京大学高齢社会総合研究機構 客員研究員(元ミシガン大学 老年学研究センター ソーシャルワーカー)
- 4) テーマ：「認知症高齢者の日米比較(仮)」

◆第70回社会保障研究会開催のお知らせ

- 1) 日時：8月1日(木) 18:00～
- 2) 場所：高齢者生活協同組合会議室
- 3) 講師：奥村 隆一氏(株式会社三菱総合研究所 主任研究員)
- 4) テーマ：『「高齢者居住を中心とした自治体間連携に関する調査」の概要』
※お問い合わせ、参加申込は事務局・佐藤[fujiko11kasei11ocha@yahoo.co.jp]迄ご連絡下さい。
なお、7月はお休みですので、お間違いないようご注意ください。

(2) 第14回「シニア社会の正義」研究会開催のご案内

- 1) 日 時：2013年6月21日(金) 16:30～18:30
- 2) 場 所：早稲田大学国際会議場4階第7共同研究室
- 3) テーマ：記念誌『濱口研究会10年・100回記念号』の合評会
6月1日度発行の記念誌を読んで、意見交換を致します。
- 4) その他：研究会参加費として300円徴収させていただきます。
お問い合わせは、事務局島村までお願いします。

(3)「シニアのICT活用研究会」第7回開催のご案内

原則的に毎月第二月曜日の開催ですが、第7回は4月の第四月曜日の開催となります。

1) 日 時： 2013年6月17日(月) 17:00~19:00

2) 場 所：(公財)ダイヤ高齢社会研究財団 会議室
新宿区新宿一丁目34番5号直田ビル3階

3) 話題提起者：富山 信氏
(NPO 法人 i-CAN, ダイヤネット, シニア情報生活アドバイザー)

4) テーマ：「シニアのICT 利・活用におけるリテラシーについて」

シニアのICTに関わるリテラシーについては明確な定義が見当たらないのが現状である。まずは利・活用のレベルが混沌とした状態である現状を認識するところから始まる。そしてリテラシーといってもさまざまな種類のものがあり、さらにその範囲があまり明確にされておらず、その定義内容で重複もあり、境界も明確ではない。以上の認識をもとに、シニアのICT利・活用におけるリテラシーについてアプローチする。

5) 参加費：500円

※参加のご連絡およびご質問については、澤岡 sawaoka@dia.or.jp (@は、半角にしてメール送信ください)までご連絡ください。

(4)「災害と地域社会」第5回研究会(座長：長田攻一)開催のご案内

1) 日 時：2013年6月26日(水) 18:00~20:00

2) 場 所：早稲田大学戸山キャンパス新33号館8階 第9会議室

(戸山キャンパスの入口左側のスロープを上がらずに、中央の講義用車両通路の右側の入口からお入りください。自転車置き場を左に、記念会堂を右に見てまっすぐお進みいただき、突き当たり手前で右側の階段を上がって左に進んでください。左側に見える高層の建物が新33号館です。これまでの39号館の入口から見て正面になります。)

3) 報告者：川副早央里：原発災害の避難を巡る問題—福島県いわき市を事例として(仮)
長田攻一：福島県浪江町の原発災害避難者の抱える問題

参加費：500円(学生は無料、ただし社会人入学者を除く)

※今回初めて参加を希望される方は、必ず事前のお申し込みをお願いします(教室の定員に余裕がないため)。お問い合わせ、参加申込は事務局・福原[fukuhara@jaas.jp]迄お寄せ下さい。

一般社団法人シニア社会学会・事務局 (月・水・金オープン)
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-15-5 パールビル4階
電話&FAX：(03) 5778-4728
eメール：jaas@circus.ocn.ne.jp URL：<http://www.jaas.jp/>

2013年度 シニア社会学会 オープン講座(暫定版)

シニア社会塾・銀座サロン

「めざせアクティブシニア ～シニアの元気は日本の元気」

「人生80年時代」と言われたのは、つい先頃のことですが、今や「人生100年時代」に近付きつつあります。第二の人生を終え、第三の人生にチャレンジすることも不可能ではありません。年をとっても、元気で生き生き暮らすには、どんなことに気をつけたらよいのか。「生涯現役」「いつでも青春」をめざして、明るく楽しい超高齢社会を実現するためのノウハウをお伝えしたい。

【 オープン講座ですので、会員以外の方の参加も歓迎いたします 】

主 催 :	一般社団法人シニア社会学会
会 場 :	東京銀座・資生堂 9Fホール(裏面地図をご参照ください)
開催要領:	2013年 9月28日(土)～2014年 3月15日(土) 全6回、 14時～16時(13時30分受付開始)、募集人数＝各回最大45人 ※各回とも定員になり次第、締め切りとなります。 各回の参加費 会員＝2500円、非会員＝3000円 (各回当日、会場にてお支払いください) (ケーキ、コーヒーor紅茶付き)

◆ 全6回の日程と講演内容 ◆

参加は各回ごとに自由にお申込みいただけます

2013年	9月	No. 1	超高齢社会を生き抜く知恵 9月28日(土) 袖井孝子(お茶の水女子大学名誉教授、当学会会長) ゲスト: 神田 蘭(講談師)
	10月	No. 2	美味しく食べて、元気に老いる 10月26日(土) 松島悦子(お茶の水女子大学)
	11月	No. 3	人は見かけが大事 11月23日(土) ((株)資生堂)
(12月は休講です)			
2014年	1月	No. 4	いつでも、いつからでも始められるICT 1月18日(土) 森やす子((株)情報環境デザイン研究所、当学会理事)
	2月	No. 5	地域のきずなを強めよう 2月15日(土) 澤岡詩野((公財)ダイヤ高齢社会研究財団、当学会理事)
	3月	No. 6	外国の高齢者にみるアクティブな生き方 3月15日(土) 松田智生((株)三菱総合研究所)

【ご注意】※受付は7月下旬から開始です。(JAASニュースでお知らせします)
※お問い合わせは、下記シニア社会学会事務局までお願いいたします。

一般社団法人シニア社会学会・事務局(月・水・金オープン)
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-15-5 パールビル4階
電話&FAX: (03) 5778-4728
eメール: jaas@circus.ocn.ne.jp
HP(URL): <http://www.jaas.jp/>

東京銀座・資生堂ビル周辺略図 (信号は目安です)

